

令和4年度 西北小学力向上プラン

長崎市第四次教育振興基本計画

基本施策 G1 「長崎のまちを愛し、新たな時代を生き抜く子どもを育みます」

G1-1 確かな学力の向上

G1-2 健やかな体と心の育成

G1-3 学校・家庭・地域の連携による教育の充実

G1-4 子どもが安全安心に学べる教育環境の整備

学力に関する児童の課題

- 学力調査において、全国・県・市平均と比較して全体的に正答率が高いが、低位児童の引き上げが必要である。
- 国語科の学力調査において「条件作文」の正答率が低く、「書くこと」に課題が見られる。
- 算数科の学力調査において「数と計算」（見積もり）や「変化と関係」（割合）の正答率が低い。

学校教育目標「美しい学校」

【目指す子ども像】

「あらわす子」：自分の思いを自分の言葉で相手に伝えることができる子ども

「やさしい子」：相手の思いを目と心でしっかりと聞き、共感的態度がとれる子ども

「ゆめもつ子」：将来に向けて夢や希望をもち、目標に向かって積極的に取り組む子ども

令和4年度 学力向上目標

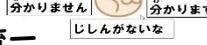
- 令和5年度の全国学力・県学力・市学力テストにおいて県の平均+5ポイントを目指す。
- 各学期末における確認テストにおいて「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」のそれぞれの項目に、以下に示す学年の数値目標達成を目指す。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
知・技	95	90	90	90	85	85
思・判・表	90	90	85	85	80	80

目標達成へ向けた取組～校内研究の3つの重点事項～

単元構想を意識した授業改善	I C T機器の活用能力の向上	主体的な学びの充実
<ul style="list-style-type: none"> ○単元構想を意識し、知識や技能を確実に習得し、学習や生活に活用する授業を行う。 ○「書く」活動を取り入れた指導を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○クロムブックを活用した授業を全員が行う。 ○現職教育や定期的に講座を開き、教員のクロムブック活用能力向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「めあて」と「まとめ」を自分の言葉で作る。 ○授業終末で振り返りを行う。 ○全教科における主体性の評価方法について共通理解を図る。

目標達成へ向けた取組～学びを支える素地づくり～

学習規律	基礎基本・俳句の時間	読書活動
<ul style="list-style-type: none"> ○ハンドサインの徹底  ○筆箱の中身の統一  	<ul style="list-style-type: none"> ○e ライブラリの活用 ○西北漢字検定 ○過去問や検証問題の活用 ○句会へ向けた取組 	<ul style="list-style-type: none"> ○読書活動の推進 ⇒読書企画による意欲喚起 ⇒パキラの会や司書教諭との連携 ○読書週間の重点的な取組
家庭学習	特別支援教育	学級経営
<ul style="list-style-type: none"> ○保護者との連携による習慣化 ○宿題内容の全校共通理解 ○自主学習の奨励 ○家庭学習の手引きの配布 	<ul style="list-style-type: none"> ○ユニバーサルデザインの視点 ⇒前面掲示はしない。 ⇒構造的な板書計画 ○個への支援の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもが互いに認め合える学級づくりを行う。 ○道徳教育・人権教育を学級経営の中心に据える。

